

<北サポ通信>

異常気象とも言われていた猛暑がやっと過ぎ、漸く秋めいてきました。新型コロナウイルス感染症やマイコプラズマ肺炎等の感染症の動向についてはこれからも注視していかねばならず、皆様方も気を遣われて診療されていることとお察しいたします。引き続き対策を怠らぬよう注意が必要と感じています。

8月に宮崎県沖で発生した震度6弱の地震では、「巨大地震注意」という地震臨時情報が発令されました。これは、最近発生している活断層のズレによるものとは異なり、南海トラフと呼ばれる巨大地震を引き起こすプレートが一番西側で発生していると思われることを指します。今回は関西に大きな地震は発生しませんでした。大阪市北区の巨大地震による被害想定は、震度6程度であり、大阪湾に地震発生から2時間程度で到達する津波に警戒する必要があります。そして台風10号の近畿への上陸では、高潮や強風による被害が心配され、BCP（事業継続計画）の重要性の再確認とともに、事業所のハザードマップの確認も必要と考えました。停電や断水等が起これば、在宅医療・介護連携に及ぼす影響は大きいと考えられます。また、避難所での感染症対策も必要です。北サポではこれらの必要な情報を共有していけるよう、今後も関係機関や行政と連携していきたいと考えております。

北区在宅医療・介護連携相談支援室

コーディネーター：川田 雅子

<ご相談連絡先>TEL 06-6948-6630

FAX 06-6948-8956

<http://www.kita-med.or.jp/kitasapo/>

E-mail kita-support@dune.ocn.ne.jp